



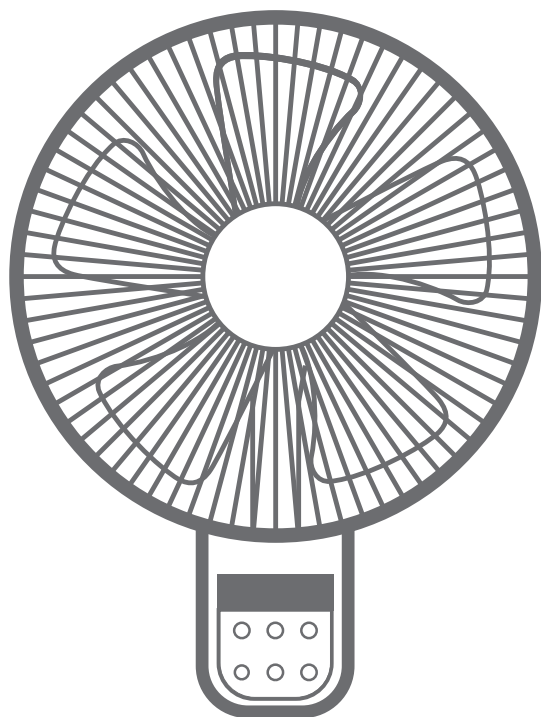
保証書添付

30cm羽根フルリモコン壁掛扇風機

# GF-DW323FR

## 取扱説明書

このたびは、壁掛扇風機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。



### もくじ

安全上のご注意 ..... 1 ~ 2

各部のなまえと組み立てかた ..... 3・4

使いかた ..... 5・6

お手入れのしかた ..... 7

収納のしかた ..... 7

故障かな?と思ったとき ..... 7

仕様 ..... 8

設計上の標準使用期間算定の根拠 ... 8

保証とアフターサービス ..... 10


保証書 ..... 裏表紙


# 安全上のご注意

必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 表示の説明

 **警告** 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷\*1を負うことが想定されること」を示します。


 **注意** 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害\*2を負うことが想定されるか、または物的損害\*3の発生が想定されること」を示します。


\*1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。


\*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

\*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明

 **禁止** 〇は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 **指示** ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 **注意** △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## 警告



### 分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。

分解禁止

修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを  
抜く

### お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

また、ぬれた手で抜き差ししない  
感電・けがの原因になります。



### 組み立てのときは、電源プラグを入れない

禁止

感電・けがの原因になります。



### 電源は交流100Vのコンセントを使う

交流100V  
のコンセント  
を使う

交流100V以外を使うと火災・感電の原因になります。



無理な扱い  
禁止

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



使用禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

## 警告



### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

根元まで差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

### スプレーなど（可燃性）を吹きつけたり、スプレー缶を近くにおかない

可燃性スプレーや化学薬品を近くで使うと火災・爆発の原因になります。



禁止

### 羽根・ガードをつけずに運転しない

けがの原因になります。



### 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り取る

ほこりを取る プラグにほこりがたまると湿気などで、絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



### 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する

幼児の手の届かないところに保管する 誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。



水ぬれ禁止

### 水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

## 注意



禁止

### 風を長時間、からだにあてない

健康を害することがあります。



プラグを抜く

### 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

### 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

羽根やガードがはずれて落下し、けがの原因になります。



接触禁止

### ガードの中や可動部へ指などを入れない

けがの原因になります。



禁止

### 次のようなところでは使わない

感電・火災の原因になります。

- ・ガスレンジ、燃焼機器などの炎のあたる場所
- ・引火性のガスのある場所
- ・雨や水しぶきのかかる場所
- ・高温（40℃以上）、多湿（風呂場など）の場所
- ・油煙、ほこり、金属粉の多い場所



プラグを持って抜く

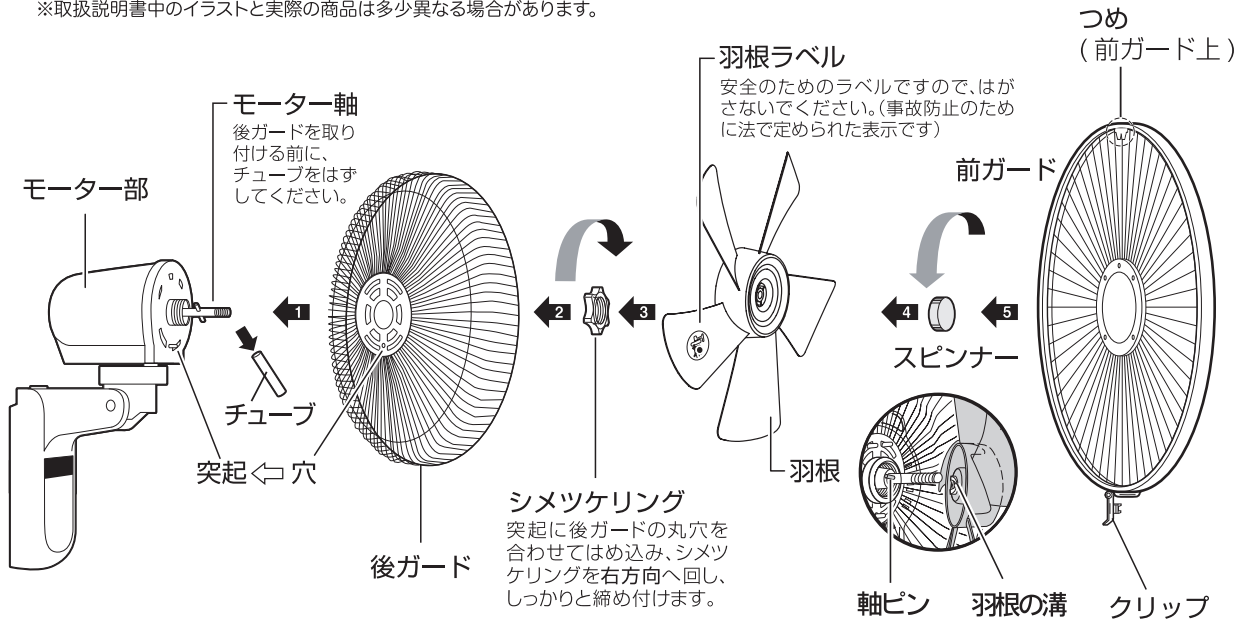
### 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

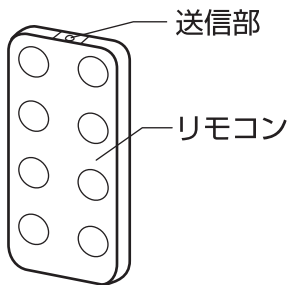
# 各部のなまえと組み立てかた

## ■順番に従い、組み立ててください。

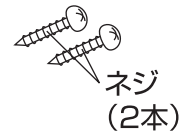
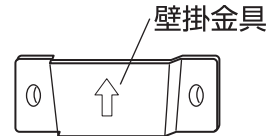
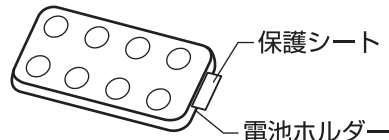
※取扱説明書中のイラストと実際の商品は多少異なる場合があります。



## 付属品



リチウム電池 (CR2025: 1個)  
●電池は最初からリモコンにセットされています。保護シートを引き抜いてから使用します。



## 注意

- チューブは羽根を取り付けるまえに、モーター軸からはずしてください。
- 取りはずしたチューブは、収納時まで大切に保管しておいてください。
- 製品を組立てた状態での輸送はしないでください。製品が破損する原因となります。
- 梱包箱と包装材料は保存や輸送時に使用しますので破棄せず保存することをおすすめします。



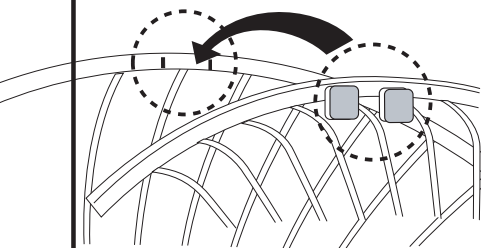
組み立て前や羽根・ガードを付けずに上下調節をしたり、モーターを運転しない。  
●ケガの原因になります。



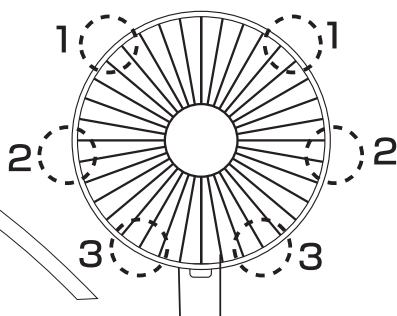
組み立て時に電源プラグをコンセントに差し込まない。  
●ケガの原因になります。

## 前ガードの取り付け

1. 前ガードのツメの部分を後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込みます。

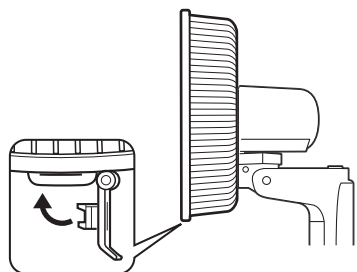


2. 両手で前後のガードを上から順にはめ込みます。



3. クリップを強く押し込み、しっかりと固定します。

● 前ガードがはずれないか確認してください。

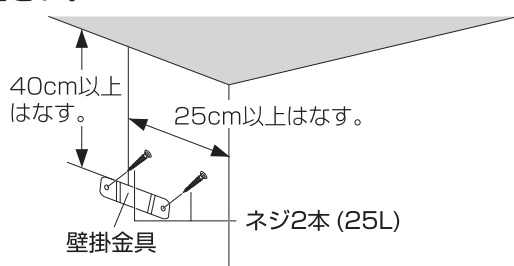


# 取り付けかた

## ■壁掛金具の取り付けかた

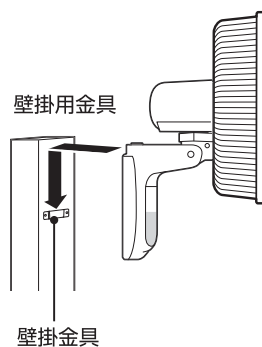
付属品の壁掛金具を右図のように木ネジ2本で壁に取り付けてください。

- 壁掛金具は、天井面より40cm以上離して取り付けてください。天井面や床面や壁面に近すぎると、扇風機が運転できません。取り付け位置をよく考慮してください。



## ■本体の取り付けかた

本体裏面の壁掛ツメを壁掛金具に引っかけてください。このとき、本体を壁面にそって下に引き下げて固定してください。



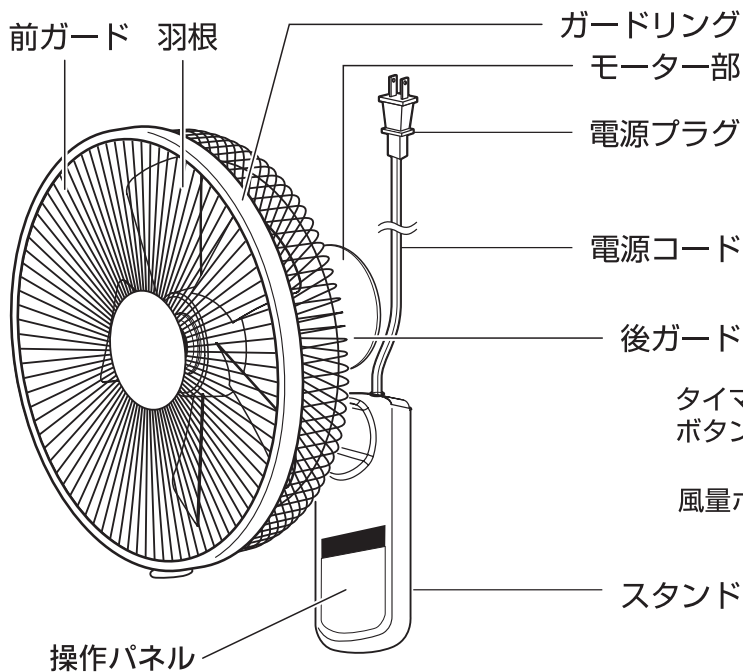
### 注意

- 電源コードを本体と壁面の間に、はさみまないようにしてください。
- 取り付け後、本体が確実に取り付けられているか確認してください。

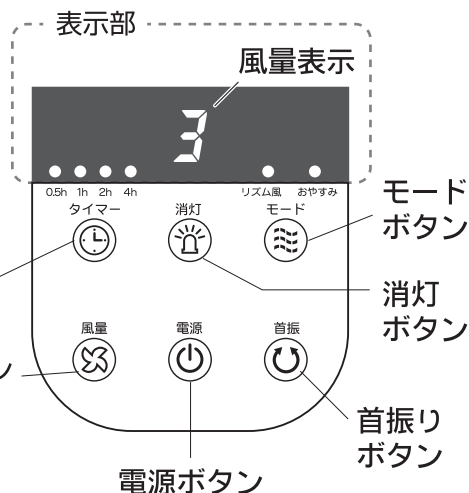
取り付ける壁面は厚さ10mm以上の板または裏面に柱などのあるところを選ぶ  
強度が不足すると、落下して、けがの原因になります

# 使いかた(リモコン・操作パネル)

## 本体

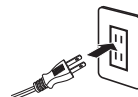


## 本体操作パネル



### 準備

【本体の準備：運転を開始する】  
電源プラグをコンセントに差し込むと電子音が出て運転待機状態になります。



※電源プラグを奥までしっかり差し込んでください。

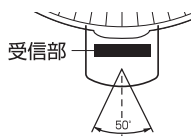
### 【リモコンの準備】

リモコンの電池ホルダーに付いている絶縁シートをご使用前に引き抜いてください。

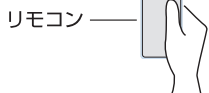


## リモコンの受信範囲

リモコンを受信部に向けて操作します。操作可能距離は正面から約3m、左右に50°以内です。操作しにくくなった場合は電池を交換してください。

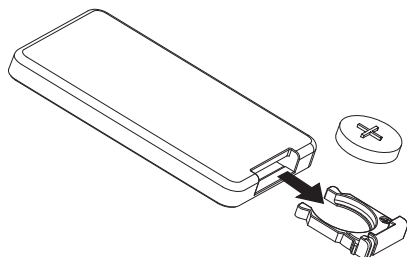


- リモコン受信部をかくさないでください。(リモコン操作ができません)



## リモコン電池の入れかた

- ① 電池ブタをスライドしてはずす。
- ② 電池を入れ(⊕と⊖を正しく)、電池ブタをする。



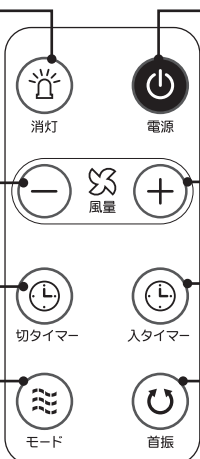
## ⚠ 注意

- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。(液もれによる故障を防ぎます。)
- ⊕と⊖の向きは正しく入れる。
- 充電式電池は使用しない。
- 分解・加熱しない。
- 水などで濡らさない。

## リモコン操作部

### 消灯ボタン

本体表示部のランプの  
入・切をおこないます。



### 入・切ボタン

運転の入・切をおこないます。

### 風量ボタン

風量が弱くなります。

### 風量ボタン

風量が強くなります。

### 切タイマーボタン

切タイマーの設定を  
おこないます。

### 入タイマーボタン

入タイマーの設定を  
おこないます。

### モードボタン

「おやすみ」・「リズム風」の設定を  
おこないます。

### 首振りボタン

首振り運転の設定を  
おこないます。

※リモコンでも本体と同じ操作が可能です。

## モードボタン

### リズム風

自然の風のような風量に変化をつけた風を送ります。

- ・風量3:風量が3/2/1でランダムに変化します。
- ・風量2:風量が2/1でランダムに変化します。
- ・風量1:風量が1/切でランダムに変化します。

### おやすみ

設定した風量でリズム風モードと同じ動きで30分間運転し、その後30分ごとに風量を減少させ、最後は風量1で運転します。



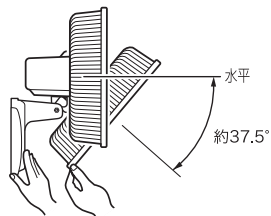
## タイマーボタン

- 運転待機状態でタイマー入/切ボタンを押すと0.5~7.5時間後に運転開始の設定ができます。設定時間になると自動的に運転を開始します。※リモコンの場合、入タイマーボタンで設定できます。
- 運転中、タイマー入/切ボタンを押すと0.5~7.5時間後に電源が切れる設定ができます。設定時間になると自動的に運転を停止します。※リモコンの場合、切タイマーボタンで設定できます。
- ボタンを押すたびに設定時間の表示が変わります。

## 風向調節

### 上下調節

スタンドを片手で押え、  
ガードを持って上・下に  
ゆっくり動かします。

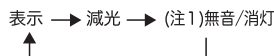


## 消灯ボタン

運転状態にして「消灯」ボタンを押すごとに下図のように切り換  
わります。

※消灯時は各スイッチを押しても再表示され  
ません。

(注1) 減光から消灯になる時のみ無音となります。



**⚠ 自動オフタイマーについて** この扇風機は切り忘れを防止するため、運転開始から24時間経過すると、自動的に運転を停止します。続けて運転したい場合は、再度電源ボタンを押してください。

## ⚠ 注意

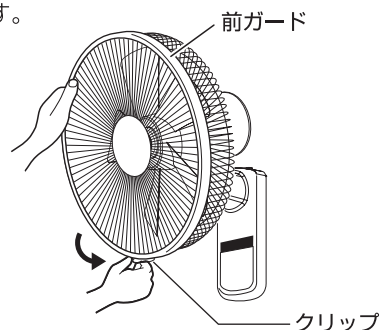
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使い始めなど運転時に、モータから臭いがでることがありますが、使用により徐々に少なくなります。

# お手入れのしかた

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で空ぶきしてください。
- 長い時間お使いになると、差し込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差し込みプラグを抜き、乾いた布でふき取ってからお使いください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり塗装がはげたりすることがありますので、ご注意ください。
- 運転停止直後のお手入れは、モーター軸が熱くなっています、直接さわらないでください。お手入れの際、羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください。

## 前ガードのはずしかた

- ①クリップをはずし、
- ②上側をささえ、
- ③カードリングの下側を引っ張り、両手ではずす。



### ⚠ 警告



プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜くまた、ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがの原因になります。

# 収納のしかた

- 収納する前にはお手入れをしてください。
- 扇風機にポリ袋をかぶせ包装箱に入れ、湿気の少ないところに保管してください。

# 故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと
羽根が回らない	● 電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。
停電後正常な運転ができない	● 電源プラグを抜いて差し直してください。



# 仕様

電 圧	交流100V 50 / 60Hz共用	
消 費 電 力	50Hz	32W
	60Hz	37W
回 転 数	50Hz	1150rpm/min
	60Hz	1150rpm/min
風 速	50Hz	180m/min
	60Hz	180m/min
風 量	50Hz	36m <sup>3</sup> /min
	60Hz	36m <sup>3</sup> /min
質 量	2.6kg	
電源コードの長さ	1.6m	
外 形 寸 法	幅:360×奥行300×高さ450mm	

- 風量が「強」のときの値です。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

## 設計上の標準使用期間算定の根拠

### 【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間を6年と算定しており、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※ 設計標準使用期間とは、標準的な使用条件(下記の〈設計標準使用期間の算定の根拠〉参照)のもとで、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。

メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。



【製造年】2023年

【設計上の標準使用期間】6年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

### 〈設計標準使用期間算定の根拠〉

項 目		条 件	負荷条件		定格負荷
環 境 条 件	電圧	100V	想 定 時 間 等	1日あたりの使用時間	8時間
	周波数	50/60Hz		1日使用回数	5回
	温度	30℃		1年間の使用日数	110日
	湿度	相対湿度65%		1年間のスイッチの操作回数	550回
	設置条件	標準設置		首振りの割合	100%



# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

### 保証書(一体)

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。

### 補修用性能部品の保有期間

- 扇風機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

### 部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

- 7ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ■ 保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。  
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### ■ 保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。  
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■ 修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話( )		

お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。

## 長年ご使用の扇風機の点検をぜひ！



愛情点検

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根を手で回すと回りだす。
- 回転が遅い、または回転が不規則。
- こげくさい臭いがする。
- モーター部が異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

モーターなどの焼損を防ぐため、すぐに電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

株式会社おおたけ ホームページ

<http://ohtake-since1978.jp/>



